

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-330636

(P2002-330636A)

(43)公開日 平成14年11月19日(2002.11.19)

(51)Int.Cl.  
A01G 9/02

識別記号  
101

F I  
A01G 9/02

マーク(参考)  
101F 2B027  
101K  
101R  
101U  
101W

審査請求 未請求 請求項の数4 書面 (全4頁)

(21)出願番号 特願2001-177795(P2001-177795)

(22)出願日 平成13年5月8日(2001.5.8)

(71)出願人 301025955

齊藤 毒渦

新潟県西蒲原郡分水町笈ヶ島字本成寺森  
1974番地4号 フジハイツ2-5号

(72)発明者 齊藤 毒渦

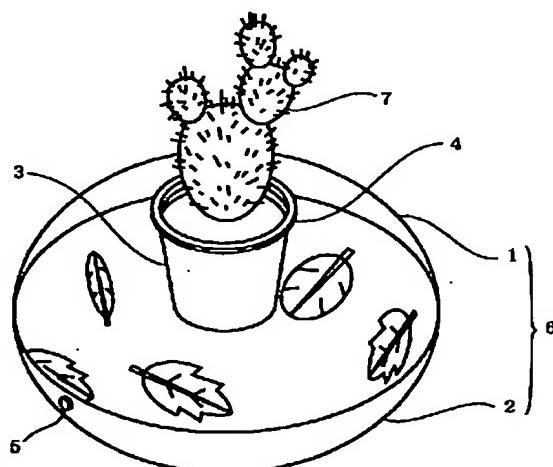
新潟県西蒲原郡分水町大字笈が島字本成寺  
森 1974番地4号フジハイツ2-5号  
Fターム(参考) 2B027 NB01 NC02 NC24 NC40 NC53  
ND01 ND13 ND17

(54)【発明の名称】 風船プランター

(57)【要約】

【課題】 鉢となる容器と空気袋の組み合わせにより、視覚的新規性を有するプランターを提供し、かつ空気袋が鉢の保温機能と、水上で浮体として機能することを目的とする。

【解決手段】 プラスチックフィルムの表生地1に容器3を取り付け、裏生地2に口栓5を設け、上記の加工をほどこした表生地1と裏生地2の周縁部を熱溶着して気密体を形成する。装飾として枠4を容器3の口に取り付ける。



BEST AVAILABLE COPY

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 鉢となる容器の少なくとも外周面を密封空気層で囲ったプランター。

【請求項2】 上記密封空気層はプラスチックフィルムによる空気袋で構成したことを特徴とする請求項1記載のプランター。

【請求項3】 上記空気袋は空気栓を備えたことを特徴とする請求項2記載のプランター。

【請求項4】 上記空気袋は表裏2枚のプラスチックフィルムを熱融着して所望の袋形状に形成され、表生地のフィルムを透明フィルムとすると共に裏生地のフィルムを不透明フィルムとし、該不透明フィルムの内面側にデザインを施したことを特徴とする請求項1乃至3の何れかに記載のプランター。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、容器の外周面に密封空気層を有する風船プランターに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来から、様々な容器形状のプランターが存在するが、容器の形状に工夫をほどこして新規性を表現する手法はありふれたものとなっている。

【0003】また、従来から存在する容器状のプランターは、容器が直接地面や外気と接するため、地面や外気の温度が低い時容器から熱が奪われ易く、植物の根が冷やされて植物の育成に影響していた。

【0004】また、従来から、プラスチックの発砲材を用いてその浮力をを利用して水上に設置するプランターは存在するが、十分な浮力を得るために必要な浮体となる発砲材の体積が大きいため、その運搬、収納が不便であった。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】本発明が解決しようとする課題は、容器の形状に工夫をほどこすというありふれた手法以外の方法で、従来とは全く異なる視覚的新規性を有するプランターを提供し、より楽しい生活空間を創造することにある。

【0006】また、本発明が解決しようとする課題は、プランターの容器を包み込むように容器と、地面や外気との間に密封空気層を設けて、植物の根が冷えないよう断熱効果を得ることである。

【0007】また、本発明が解決しようとする課題は、従来の水上に設置できるプランターの浮体となっていける、運搬、収納のし難い発砲材に変わって、空気で膨らませた空気袋を浮体として用いることにより、その空気を抜くことによって浮体の体積を減らし、運搬、収納を便利にすることである。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】本発明のプランターは、前記課題を解決するべく、請求項1記載の通り、鉢とな

る容器の少なくとも外周面を密封空気層で囲っていることを特徴とする。また請求項2記載のプランターは、請求項1記載のプランターにおいて、上記密封空気層はプラスチックフィルムによる空気袋で構成したことを特徴とする。また、請求項3記載のプランターは、請求項2記載のプランターにおいて上記空気袋は空気栓を備えたことを特徴とする。また、請求項4記載のプランターは、請求項1乃至3の何れかに記載のプランターにおいて、上記空気袋は表裏2枚のプラスチックフィルムを熱融着して所望の袋形状に形成され、表生地を透明フィルムとすると共に裏生地を不透明フィルムとし、該不透明フィルムの内面側にデザインを施したことを特徴とする。

【0009】上記鉢となる容器は、例えばポリプロピレンのようなプラスチックを用い、該容器の口にはプラスチックフィルムと熱融着させるための耳を一体成形で設けるのが好ましい。

【0010】上記空気袋は、例えばポリプロピレンのようなプラスチックフィルムを用い、上記容器と同素材にするのが好ましい。上記空気袋の中の密封空気層は、上記容器に対して断熱効果を有する。

【0011】上記空気栓は、例えばポリプロピレンのようなプラスチックを用い、上記空気袋と同素材にするのが好ましい。

## 【0012】

【実施例】以下、図面によって本発明の実施例について説明する。図1～6において、表生地1、裏生地2及び容器3は、例えばポリプロピレンのようなプラスチックを用い、表生地1には透明な素材を用いる。裏生地2は不透明素材で片面に模様がほどこされている。実施例では「葉」の模様である。表生地1及び裏生地2は実施例では円形にカットされ、容器3の口の周縁部には幅3～5mm、厚さ0.3mm程度の耳3-Aを一体成形で設けてある。

【0013】表生地1の中央に容器の耳3-Aの最大外形よりも10mm程度小さな直径の穴1-Bを設け、そこに容器3を底の方から差し込んで穴の周縁部1-Aと耳3-Aを重ね合わせて熱融着する。

【0014】裏生地2の適当な位置に、空気栓5の口が裏生地2の模様のある面とは逆の方向に出るようにして熱融着する。

【0015】上記の加工をほどこした表生地1及び裏生地2の周縁部を熱融着し、その全体は気密体として形成されている。この時裏生地2の模様の面は気密体の内側に向くようにし、空気栓5の口は気密体の外側に向いている。

【0016】最後に、接合された容器3の耳3-Aを隠すために装飾用の枠4を容器3の口に接着剤などで取り付ける。

【0017】上記のように構成された風船プランターを

3

膨らませると、図5に示すように、容器は地面から浮き上がり、容器を包むように密封空気層が得られる。この時、表生地1は透明であるから、まるで容器が空中に浮いたような新鮮な視覚的効果が得られる。また、裏生地2の模様面は気密体の内側に向いているので、図6に示されるように通常使用される状況においては、透明な表生地1を通して模様のほぼ全体を見て楽しむことができる。

【0018】また、容器が空中に浮いたような新鮮な視覚的効果を得るために裏生地2も合わせて透明素材を使用してもよい。

【0019】また、新鮮な視覚的効果を得るために、透明なフィルム素材上に、例えば水玉模様などを描いててもおもしろい。

【0020】また、上記のように構成されているので、容器3と地面や外気との間に密封空気層が設けられ、植物の根が冷えないような断熱効果が得られる。

【0021】また、上記のように構成されているので、風船プランターを使用する時は浮体部分に空気を入れ、使用しない時は浮体部分から空気を抜いてコンパクトにして運搬、収納を便利にすることができる。

【0022】

【発明の効果】本発明は、上記のとおり構成されているので、次に記載する効果が得られる。

【0023】請求項1のプランターにおいては、断熱効果を備える。

【0024】請求項2のプランターにおいては、水上に浮かべることができる。また、プラスチックフィルムを使用することにより、すでに市場に提供されているさまざまな模様、色彩、材質のプラスチックフィルムを利用

10

して非常に多種のバリエーションを作り出せ、顧客好みに広く応じることができる。また、プラスチックフィルムには、シルクスクリーンなどで印刷も容易であり、新規の多種のバリエーションを容易に提供できる。

【0025】請求項3のプランターにおいては、不使用時には浮体部分をコンパクトに収納することができる。

【0026】請求項4のプランターにおいては、容器が空中に浮いたような新鮮な視覚的効果が得られ、しかも裏生地の模様が表生地の透明フィルムを介して透けて見えるため、全く新規な視覚的効果が得られる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の分解斜視図である。

【図2】本発明の裏生地2の正面図である。

【図3】本発明の正面図である。

【図4】本発明の平面図である。

【図5】本発明のA-A断面図である。

【図6】本発明の使用状態を示す斜視図である。

#### 【符号の説明】

1 表生地

1-A 穴の周縁部

1-B 穴

2 裏生地

2-A 穴

3 容器

3-A 耳

4 枠

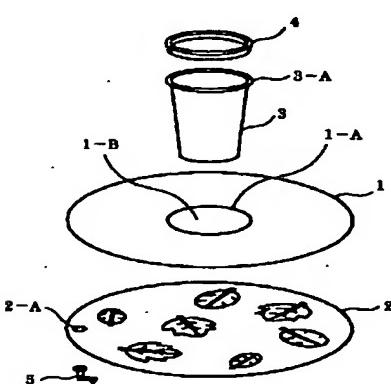
5 空気栓

6 空気袋(浮体)

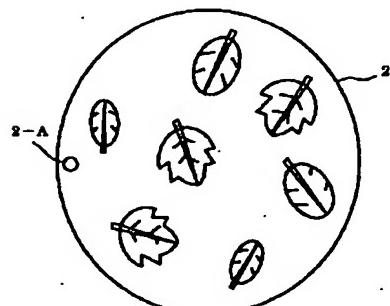
7 植物(サボテン)

30

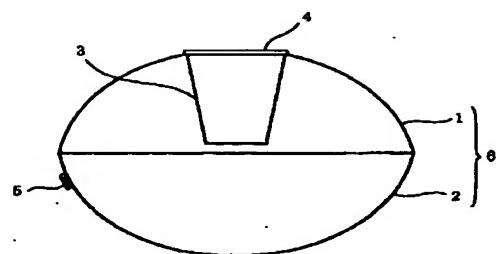
【図1】



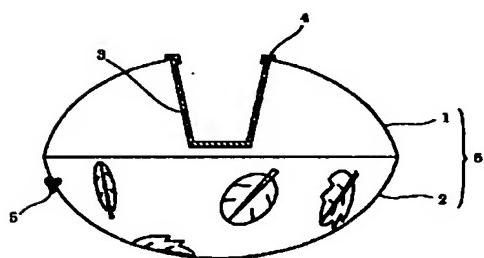
【図2】



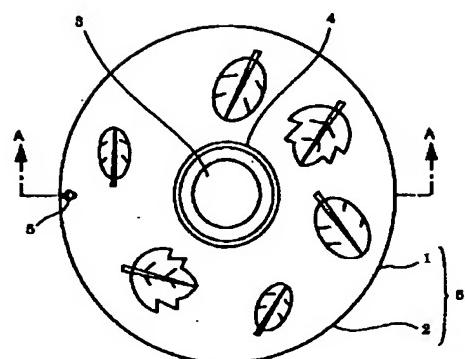
【図3】



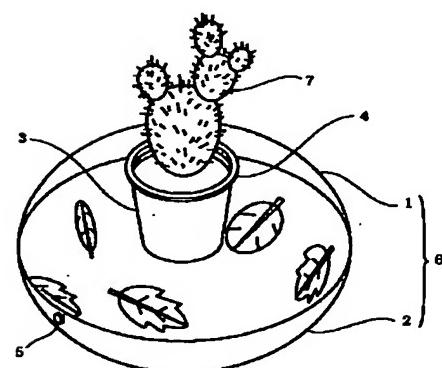
【図5】



【図4】



【図6】



PAT-NO: JP02002330636A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002330636 A

TITLE: BALLOON PLANTER

PUBN-DATE: November 19, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SAITO, TOSHIMITSU	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SEITO TOSHIMITSU	N/A

APPL-NO: JP2001177795

APPL-DATE: May 8, 2001

INT-CL (IPC): A01G009/02

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a planter which has a visual innovation by combining a container to be a pot with an air bag and makes the air bag have a heat insulation function of the pot and function as a floating body on water.

SOLUTION: This balloon planter is formed by attaching a container 3 to a surface material 1 of a plastic film and a stopper 5 to a back material 2 and thermally fusing the peripheral parts of the processed surface material 1 and the processed back material 2 by melting to form an airtight body. A frame 4 as an ornament is fixed to the mouth of the container 3.

COPYRIGHT: (C)2003,JPO

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**